

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	コロナ禍におけるヨーロッパ地域研究と学習支援				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	剣持 久木
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	小谷 民菜
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	ファイファー・マティアス
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	橋川 裕之
		所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	浅間 哲平
	発表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香

講演題目	コロナ禍におけるヨーロッパ地域研究と学習支援
------	------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

研究の目的
 本学のヨーロッパ地域研究は、これまでドイツ・フランス・スペインにある協定校を選定し、協定関係を構築し、そして交流することによって学生に現地における最新の知見を得る機会を提供してきた。また、交換留学という枠組みを実質的に運営し、留学という大きな目標を与えることで、学習の動機づけをすることに成功してきた。新型コロナウイルス感染症拡大で海外渡航が困難になり、特にヨーロッパ地域へのアプローチは今後数年間これまでとはまったく異なるものとなることが想定されている。その結果、従来の地域研究・学習のモデルは再考を迫られている。本研究は、このような状況に適応した新たなヨーロッパ地域研究・学習モデルを創出することを目指すものである。このような試みは、コロナ禍の現在を切りぬけるだけでなく、ポスト・コロナ時代における大学の研究・教育のあり方に資するものでもあると考えている。

成果および今後の展望
 大学間国際交流協定校と協力し、遠隔方式により以下の特別講義を行った。
 「音楽芸術と言語を通じて」高野ベック弥生（ドイツ在住・ピアニスト）、2021年11月18日、Zoom開催。“Societies in Crisis”（ブレーメン経済工科大学教員による連続特別講義・全4回）、Tim GOYDKE（経済学部）Silke BOTHFELD（社会学部）、Rainer HARTMANN（社会学部）、Beate ZIMPELMANN（社会学部）2021年12月～1月、Zoom開催。「アントニオ・マチャド - 印象主義とハイク」Ricardo DE LA FUENTE（バリャドリッド大学・教育学部教授）、2022年4月公開予定、オンデマンド配信。
 またエッセイ集『ヨーロッパ留学体験記』（ヨーロッパ研究プログラムに関わる教員と過去の協定校への留学経験者が執筆）『ローカルから見るヨーロッパ』（ヨーロッパ研究者、在日ヨーロッパ人等が執筆）した。これについては国際関係学部の1, 2年生ガイダンスで配布予定である。
 以上の試みにより、低下していた国際関係学部生へのヨーロッパ学への興味はある程度回復したと思われる。今後は上記の試みに加えて、アクティブラーニングとして在静岡ヨーロッパ人への学生インタビュー等のアクティビティを導入する可能性を模索していく。